

# 省エネ技術を用いた

## 環境技術のモニター実証を実施しています！

大阪府環境農林水産総合研究所では、中小企業等が開発した先進的な環境技術について技術評価し、その普及を支援する『おおさかエコテック（環境技術評価・普及事業）』を行っています。  
また、評価技術を広くPRするとともに利用ニーズを探るため、大阪府等の公共部門がモニターとなり、環境保全や利用率を実証する『モニター実証』を実施しています。

### 【モニター実証の概要】

- 実証技術：空調機・冷凍機省エネシステム『 Be ONE-M 』
- 実証企業（技術開発者）：株式会社東洋スタンダード（大阪市北区西天満6-2-14）
- 実証場所：道の駅 近つ飛鳥の里 太子（南河内郡太子町山田2265-1）
- 実証期間：平成21年6月～平成22年3月  
（夏季と冬季の空調機稼動時にデータ収集）
- 実証項目：消費電力、室温等
- 技術の概要

『 Be ONE-M 』は、エアコンの圧縮機の稼働状況を常時監視し、圧縮機に負担を掛けないタイミングで圧縮機を30分に1回の割合で強制的に停止させる装置です。停止中は、送風状態となり、室温の変動はほとんどないので、快適さを維持できます。

### ■実証による効果

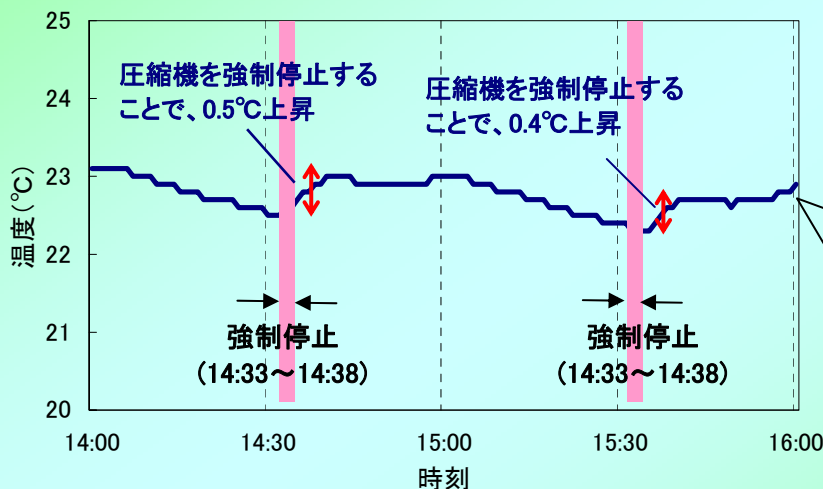
省エネ効果を実証することで、企業は製品の普及促進に活用することができます。

### 【モニター実証の結果速報（7月5日）】

#### ■実証方法及び結果

『 Be ONE-M 』により、①、②の制御を繰り返します。

- ①エアコンの圧縮機を30分あたり5分間強制停止し、送風状態とします。  
（毎時間33分に停止します）
- ②次の30分は比較のため、エアコンの圧縮機を停止させず通常運転します。



圧縮機を強制停止することにより、温度が約0.5°C上昇しましたが、体感温度は大きく変わらないと考えられます。

強制停止した場合、強制停止前と比較すると、消費電力が約17%削減されました。  
7月5日の電力量は約8.5%削減されました。

	14:00～ 14:30	14:30～ 15:00	15:00～ 15:30	15:30～ 16:00
消費電力(kW)	6.9	5.5	6.5	5.8
制御電力(kW)	-	1.1	-	1.2

【お問合せ先】 株式会社東洋スタンダード 営業本部 06-6362-7999  
大阪府環境農林水産総合研究所 研究調整課 06-6972-7634